

知事との県民対話集会（長和町）概要

- ・開催日時 令和4年10月11日（火） 午前10時から午前11時30分まで
- ・会場 長和町古町コミュニティセンター 講堂
- ・参加者 県民80名、羽田長和町長、阿部知事、柳沢上田地域振興局長
- ・テーマ 住民が幸せを感じるまちづくりを目指して

・主な発言（要旨）

【参加者】

- ・社会福祉法人等が主体となり地域共生社会推進のための包括的取組についての事業の創設など検討いただきたい。
- ・福祉施設について、小規模な利用者数でも運営できるような方策の検討をお願いしたい。
- ・医療的ケアが必要な児童の受け入れができるよう人材の確保、育成、医療機関との連携などが必要。

【知事】

- ・行政の縦割りの限界を感じる。このような組織で横断的に行ってもらうことが効率的かと思う。
- ・広域化・集約化は効率的だが不便になる場合もある。人と人とのサービスは、コストがかかっても分散すべきと思う。

【参加者】

- ・防災減災のため、河川内の立木や堆積土砂の撤去、河床整備をお願いしたい。また、河川監視は地域をよく知っている地元の人が行うことも考えてほしい。
- ・道路の損傷が激しい。観光にも影響する。事故も発生している。安全安心な道路や歩道の整備をお願いしたい。
- ・砂防堰堤に関し、小さい砂防など現地の地形に合った対策をお願いしたい。

【知事】

- ・毎年防災減災に係る県債を増やしている。河川監視については、地域の皆さんに協力してもらう方法もあると思う。
- ・道路維持補修の必要性は感じている。維持管理のレベルを上げていくことを意識していく。
- ・岡谷の災害の例もあり、対策は必要。あえて違う観点でいうと、危ない所に住まない、地域によっては安全な所へ移転するといった考え方もあるのではないか。

【参加者】

- ・複式学級化に係る県の独自基準を維持してもらいたい。また、複式学級で教育効果が上がりにくい教科（算数等）について教員の配置の支援をお願いしたい。

【知事】

- ・教育は県、市町村、教育委員会が共に考えるものだが、個別最適な学びが重要。教員の配置については、国基準とは分けて考えることが重要。教育委員会等と整理する。

【参加者】

- ・移住希望者へ住宅を紹介しやすくするため、空き家売買に掛かる不動産手数料を上げたり、売りたい人の手数料を減らすなどの制度、補助金などを検討いただきたい。
- ・シェアハウスや生業づくりの拠点など、若者や移住者が気軽に来て、地域に関わり仕事創出できるような環境を作りたい。

【知事】

- ・手数料の件など、不動産業界との話し合いも必要かと思う。
- ・仕事については「特定地域づくり事業協同組合制度」なども検討してみしてほしい。地域振興局と連携し、住居&仕事をどういったパッケージで提案できるか考えてもらいたい。

【参加者】

・景観整備について、県が全体像をどうデザインするか考えてもらいたい。

【知事】

・広域的な統一感を出す必要がある部分等については、景観形成計画の見直しもあるので県としても問題提起していきたい。

【参加者】

・地権者不明農地などの利用について、所有者ではなく利用する人に権利を認められる制度を作るよう、国に働きかけをしてほしい。

【知事】

・土地利用の問題は複雑なので宿題にさせてほしい。

【参加者】

・エコーバレースキー場は丸3年閉鎖することになってしまった。知事にもまた知っておいていただきたい。

【知事】

・スキー場がオープンするか否かはまわりの観光業者に影響があると思う。町長にも状況をお聞きしたい。

【参加者】

・生コンの単価が上昇しているが、工事の設計単価に反映されるのには2～3か月かかる。早めに対応できる仕組みを考えてほしい。

【知事】

・発注者側の立場としてできること考えなければいけない。全体としての価格高騰対策や生活支援は引き続き対応していきたいが、県や市町村でできることに限界ある。国の経済対策としても考えてもらいたい。